

Dean's Message

地域医療・福祉に貢献できる
医師・看護職・心理援助者と
世界に羽ばたく研究者を目指して

香川大学医学部の歴史は1978年の香川医科大学創設にさかのぼり、
1996年に看護学科を設置、2003年に香川大学と統合、
そして2018年に全国の医学部で初めてとなる臨床心理学科が誕生しました。
人間性の豊かな医師・看護職・心理援助者を養成し、
地域医療・福祉に貢献できる人材を輩出するとともに、
世界で通用する医学、看護学及び臨床心理学の教育研究を目指しています。
教育では特に臨床実習を重視しており、附属病院での実習に加えて、
地域の医療機関等での実践的な実習など、充実したカリキュラムになっています。
医学部に拠点を置くサークルが数多く有り、また国際交流も盛んで、
海外留学や外国人留学生との交流など、充実した学生生活を送ることができます。
一人一人の夢が叶うよう、医学部は丸となって皆さんを応援します。

香川大学医学部長 上田 夏生

世界がきみを待っている。



Kagawa University Faculty of Medicine Guidebook

臨床心理学科

Kagawa University Faculty of Medicine

Innovative

全国の国立大学医学部で

初めてとなる臨床心理学科

基本理念

1. 世界に通ずる医学、看護学及び臨床心理学の教育研究を目指す。
2. 人間性の豊かな医療人及び心理援助者、並びに医学、看護学及び臨床心理学の研究者を養成する。
3. 医学、看護学及び臨床心理学の進歩並びに人類の福祉に貢献すると共に地域の医療及び心理援助の充実発展に寄与する。

あらゆる人へ、こころの健康と成長を届けるために。

■公認心理師の誕生

科学技術の進歩、高齢化社会の到来、複雑化する人間関係によって、人の「こころ」はストレスを感じています。そして保健医療・福祉・教育・産業・司法など、「こころ」について幅広く学んだ心理援助職の活躍の場が広がっています。こういった変化を背景に、公認心理師が「心の健康の保持増進に寄与する」ための国家資格として誕生しました。香川大学医学部臨床心理学科のカリキュラムはその受験資格の取得に対応し、さらに医学/臨床医学の基礎と心理学/臨床心理学を融合させた学びを幅広く展開するという特長をもっています。

■なぜ医学部に臨床心理学科？

それでは、なぜ香川大学は医学部に臨床心理学の教育・研究を行うという先駆的な取り組みをはじめたのでしょうか？それは人の「こころ」と「からだ」は密接に結びついており、相互に影響を与え合っているからです。メンタルヘルスの問題に留まらず、周産期医療、高齢者ケア、緩和ケアなどチーム医療による支援もますます求められています。医学/臨床医学の基礎と心理学/臨床心理学を学修することにより、生活のなかで誰もが感じる悩みから、疾患・障害を抱えて生きることまで、あらゆる人へこころの健康と成長を届けたいと思っているのです。

■カウンセラーなどの心理援助者を志すみなさんへ

本学科は全国の国立大学医学部で初めてとなる臨床心理学科です。人の心理を深く理解することや心理的援助に強い関心を持ち、主体的に人と関わる協働性、相互理解の尊重、共感的コミュニケーションを大切にすみなさんと共に、社会に貢献することを目指しています。



—臨床心理学科のご紹介—

Our View

医学部だから学べることがある。学部生 & 教員の本音トーク



臨床心理学科で学べること、描ける未来。臨床心理学科の1年生と先生が話しました。

20人みんなの仲が良く、
意見が言いやすい雰囲気

野口 皆さんが心理学に興味を持ったきっかけを教えてくださいませんか？

川崎 人の心には小さい時から興味を持っていました。小中学校ではいじめなどで友達が困っていた状況を目にし、自分でも何かできないかなと思っていました。

モストファ 私は小さい頃、極度の心配性で。そんな時いちばん話を聞いてくれたのが母でした。母のように話を聞く人になろうと思ったのがきっかけです。いまSNSなど技術の発達で人のストレスも増えている、心理職がもっと必要になるのではと思っています。

稲田 私も人の行動と心について小学生の頃から興味を持っていました。高校では生物学が好きで理系だったのですが、その時に読んだ脳科学の本で、心理学と生物学が融合した感じだと印象を受けて。科学的な視点から心理を学びたいと思っていました。

上田 心理学は日本では哲学の流れで文系の学問として研究されてきたのですが、心理学を学んだ方の中には医療現場で働く人も多いのです。そんな心理職の方と話す「医学の知識を学びたかった」という声をよく聞きます。同時に医療現場では人を体と心の両方から診る重要性に気づき始めています。香川大学は国立大学の医学部として初めて、医師・看護師と同じように医学の知識を持つ心理の専門家育てたいと、今年度から臨床心理学科をスタートさせました。皆さんはその1年生

ですが、大学生活はどうか？

モストファ とても楽しいです。20人という少人数でみんな仲が良く、意見が言いやすいです。

川崎 私は県外から来たので初日は心細かったのですが、入試で席が後ろだったという人が話しかけてくれました。あたたかい雰囲気だなと思っています。

稲田 先生方も、心理学だけではなく精神科・心療内科など幅広い分野の方がいることに驚きました。

学生さんの心理学への興味を
どんどん追求する場にしたい

野口 1年生のいまは主に全学共通科目で教養科目を学んでいる時期ですね。

稲田 心理は人と関わるので教養も大事だと思います。学部と関係なく一緒に学ぶので、いろんな友達もできました。

川崎 先日から心理学の講義も始まったのですが、まさに学びたいことなので「とても楽しい！」とわくわくしています。

モストファ 他の学部の人には「臨床心理学科ってどこの学部？」って聞かれることもあるんですが…(笑)。

上田 学内でもっと知ってもらえない!(笑)ところで皆さんは臨床心理学科でどんな勉強をしていきたいですか？

稲田 私は認知心理学に興味があります。脳の動きで人間がどう変わるのか、神経の動きや作用に注目して、医学的な視点で学びたいです。

川崎 私は行動心理学、心が行動に現れるものに興味があります。心が体の不調に表れるように、実際の体と心のつながりを知りたいです。

モストファ 頭の中で考えていることがなぜ体につながっているのか、医学の中で学びたいですね。

野口 臨床心理学科では認知や行動といった心理学での様々な視点を通して、それを人の支援にどのように役立てていくのかについて学んでいきます。そして、それに医学という分野を合わせることで、より多くの人の役に立てるプロフェッショナルな心理援助者を育てていきたいと思っています。皆さんには臨床心理学科の教員だけではなく、医学科・看護学科や附属病院の先生からも直接学ぶ機会があります。また、実習等を通して医療以外の領域にも触れてもらうことで心理援助者の活躍する領域の幅広さを肌で感じてもらうこともできるでしょう。今後、医学部にある臨床心理学科という日本でも数少ない環境の中で学んだ皆さんがどのように成長をしてい

くのか、私は教える立場として大きな責任を感じるころではありますが、それ以上に楽しみでもあります。

卒業後「医学を学んだことは
自分の強みだ」と思えるように



上田 皆さんは2年生で生理学や解剖学といった基礎医学をひと通り勉強し、医療人が当たり前に行っていることを身に付けることになります。医学科・看護学科と共同で学ぶ授業もあります。いまチーム医療や多職種連携が叫ばれていますが、医学科・看護学科の学生も皆さんと学ぶことで心理職の重要性を認識することができます。これからの「当たり前」をいち早く学ぶことができます。それが他にはない本学の特長です。

川崎 部活でも医学科や看護学科の友達ができるのがいいですね。卒業生も練習を見に来てくれるので世



左から稲田 花恋さん(香川県出身)、野口 修司准教授、川崎 凜さん(滋賀県出身)、上田 夏生医学部長、モストファ ライサさん(香川県出身)。

代を超えたタテのつながりもでき、コミュニケーション能力が上がるかも期待しています。

稲田 私はせっかく医学部にいるのだから医学科の研究も知りたいと思って医学科の学生研究サークルに入りました。全部で4つのサークルに所属しています。

上田 学生時代から遊びや勉強を通して自然に他の学科を知ることができるのは本学の伝統なんです。皆さんは将来めざしている職業はありますか？

稲田 私は研究職を考えています。

モストファ 私は医療方面に進みたいですね。授業で、NICU(新生児集中治療室)で働く心理職の方のお話を聞かされて興味を持ちました。

川崎 私は心理学に興味を持ったきっかけが友人の悩みだったこともあり、スクールカウンセラーを考えています。10~20代の心に向き合うカウンセリングの仕事についてもっと知識を深めたいです。

上田 人と向き合う学問なので、いろんな方に学びに来てほしいですね。今年の臨床心理学科の学生は男女比が1:3。文系もいれば理系もいます。そのために入試科目も柔軟性を持たせているんですよ。

川崎 私は理系でしたが、入試の個別学力テストは数学ではなく国語で受験しました。

野口 そうなんですか!皆さんのように「心理学に興味があるから学んでみたい」という人には、理系・文系を問わずに、ぜひ来ていただきたいですね。

上田 高校生の皆さんには「医学部の専門授業についていけないのでは?」なんて思わずに来てほしいですね。興味があることに全力で応える臨床心理学科を、私たちも学生の皆さんと一緒にやっていきたいと思います。

Keywords

01 多職種連携とチーム医療

多職種連携とは、異なった専門的背景を持つ人々が、それぞれの専門的知識と能力を活かしながら共通の目標に向かって協働してはたらくこと。「チーム医療」はそのひとつで、医師、看護師、薬剤師、そして臨床心理士・公認心理師などがチームを組み、患者の生活の質の維持・向上や、患者の人生観を尊重した医療の提供を目指します。医療の複雑化に対応し患者主体のケアを行うために、ますます重視されています。本学科では4年次「チーム医療実習」で附属病院の各部門を順に巡り、その実際を学びます。医学部臨床心理学科ならではの実習科目です。

02 様々な領域での活躍

「チーム医療」の現場で活躍する医療者の姿を体感し、その連携のありかたを学ぶことは、保健医療以外の領域ではたらく際にも役に立ちます。そのひとつが「チーム学校」。教員、養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどが連携して教育に当たり、児童生徒の成長を促しています。たとえば中学校で気軽にスクールカウンセラーに相談できる体制があることで、友人関係の行き違いがいじめへと発展する前に対応できるかもしれません。多職種連携を学ぶことで、教育、福祉、司法・矯正、産業・社会など様々な領域での活躍が可能になります。そのための実習カリキュラムが1年次より組まれています。

03 医学部でのキャンパス・ライフ

臨床心理学科の学生は、1年次は幸町キャンパスを中心に、2年次以降は三木町医学部キャンパスで大学生活をおくります。これは医学科生、看護学科生と同じで、部活動・サークル等も医学部を中心に活動するところに所属する学生が少なくありません。また医学部では国際交流の場を様々なプログラムで提供しており、各国の未来の医療者とふれあうこともできます。感性の柔らかい時期から苦楽を共に、多様な仲間と一緒に成長していけること。この人と人とのつながりは、一生の財産になることでしょう。

04 公認心理師と臨床心理士

2017年に生まれた新しい国家資格「公認心理師」の受験資格を得るためには、「大学(学部4年間)における必要な科目」を学んだ上で、大学院への進学または実務経験が必要です。本学科は学部で必要なカリキュラムを満たしています。またその学修内容は、1988年からの実績をもつ「臨床心理士」(公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会)を目指す人にも重要となります。「臨床心理士」受験資格を得るためには、同協会が指定する大学院を修了することが必要です。本学科は、徹底した少人数教育による細やかな指導のもとに、この二つの資格を取得して活躍する心理援助職の養成を目指しています。有機的で一貫した教育を提供するために、今後大学院の臨床心理学専攻(修士課程)を開設する予定です。

Professionals

香川大学で学び、心理の現場で活躍する。



榎田 崇弘 香川県立看護学院
(児童自立支援施設)

私は香川大学大学院教育学研究科臨床心理専攻を修了後、香川県(地方公務員)の心理職員として働いています。安定した勤務条件のなかで、たくさんの仲間とともに被虐待児童や非行少年、障害を持った方々、様々な悩みを抱えた方々への心のケアに携わっています。心理士一人の力は微々たるものですが、職場の仲間や関係機関との連携の中で力を発揮させていただいています。私は大学を出てからも、仕事上で悩みがあると大学の先生のもとに相談に伺いました。出身大学の地元で働く、相談しやすく、先輩や仲間が身近にいる中で働けるのがいいと思います。



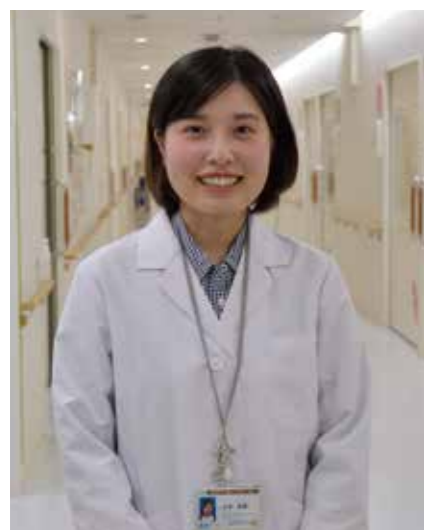
組坂 未弥 竜雲メンタルクリニック
(精神科/心療内科)

精神科・心療内科クリニックで臨床心理士をしています。医師、看護師、精神保健福祉士等と協力しながら働いています。クリニックにはさまざまな人が訪れますが、私は主にカウンセリングと心理検査を行なっています。カウンセリングを通じてクライアントの変化が生まれる時、とてもやりがいを感じます。また、香川大学の卒業生の皆と勉強する機会もあり、心理学を深めていけることが面白いです。



横井 裕子 西春日小児科 / 高松中央高校ほか

学校は、毎日いろいろなことが次々と起こる場所です。相談内容も、訪れる人も実に様々です。「周囲に巻き込まれず、一人一人に向き合う」ことが、スクールカウンセラーに期待されます。心理の専門性に加え、幅広い知識も必要になりますが、あなたの経験のすべてが活かされる場所になるのではないのでしょうか。



白澤 彩香 香川大学医学部
小児科学講座

香川大学大学院教育学研究科臨床心理専攻を修了後、様々な職種の方とともに新生児集中治療室に入院している赤ちゃんのご家族の心理的サポートや小児科外来での心理検査をしています。いのちの現場で圧倒されたり悩んだりすることも多々ありますが、やりがいも感じる毎日です。生まれ育った香川で大学・大学院を過ごして今に至りますが、就職してから相談にのってもらえる仲間に出会えてよかったと思っています。



津山 紀彦 小豆島中央病院
心理相談室

小児科と内科を中心に、心理的なストレスの影響がある患者さんの心理療法・心理検査を担当しています。島の中核病院として、学校不応答、発達障害、心身症などへの幅広い対応を期待されています。福利厚生の一環で、スタッフのメンタルヘルス向上にも取り組んでいます。たくさん人と関わって、たくさん遊んで、様々な経験を積むことが心理援助職としての成長につながると思っています。



溝口 盛治 香川県教育委員会事務局健康福利課内
一般財団法人 香川県教職員互助会

教職員の精神不調による病気休職からの復帰支援やそれに伴う心理相談を主に行っています。加えて、昨今の過重労働問題についても対応が急がれる状況にあり、職場環境調整も重要な業務になっています。その意味ではバランス感覚が要求される業務といえますが、そこにこの仕事の絶妙な面白さ、奥深さを感じています。

Study Environment

学びを支える環境

香川大学医学部には学生の日々の自主学習やグループ学習を支える、充実した学習環境が整備されています。学生は最新機器を備えたシミュレーション学習室や自習室、図書室や教室を自由に使えます。時には教授陣が学生の自主グループに招かれ講義を行うこともあり、学内全体で学生の主体的な学びを支えています。

KAGAWA UNIVERSITY HOSPITAL

香川大学医学部附属病院は香川県を代表する医療機関であり、最先端の医療、最高の療養環境を提供しています。附属病院では医学科4年生からの臨床医学実習、看護学科3年生からの臨床実習、臨床心理学科4年生の心理実習(チーム医療実習)の場となります。現在病院再開発整備を行っており、2019年度からすべてが刷新・機能強化された新生香川大学病院が活動を始めます。香川大学医学部附属病院は、地域医療機関との連携を強め、地域の中核として「いつも近くにいる大学病院」を目指しています。



■ スキルズ ラボラトリー

患者さんを模したシミュレーションモデルや、診療・検査のためのモデル、モニターなど最新の学習機器が数多く備えられた県内最大規模のトレーニングセンターが学内に設けられており、最新の設備でトレーニングを行います。



■ 図書館

学ぼうとする学生たちを受け入れる図書館。最新の医学書や看護専門書、国家試験対策図書など14万冊の蔵書があり、レファレンス機能、PCと連動した電子図書館的な機能を備えています。



■ 自習室

24時間オープンな自習室では毎日学生が夜遅くまで勉強しています。定期試験、共用試験、国家試験などさまざまな試験を、学生たちが仲間と一緒に学びあひ乗り越えていく姿は、香川大学の伝統であると言えます。教室も開放しています。

School Life

心をみかく学生生活

勉強もサークルなどの課外活動も両立させ、充実した大学生活を送る。それが香川大学医学部生の特長です。さまざまな活動や行事を通して学年や学科を超えた交流が生まれています。学生時代に培われるセルフマネジメント力やチーム力が、将来の医療現場で役立ちます。



■ 医学部祭

毎年10月には学生が企画・運営する医学部祭が医学部キャンパスで開催されます。芸能人やアーティストを招いてのステージや、部活・サークルの発表、多くの模擬店などにぎわいます。



■ 学生食堂

栄養バランスが良い定番・週替わり・月替わりメニューなどを豊富に揃え、毎日の学生生活を食の面から支えます。1食平均500円程度というリーズナブルな価格も魅力です。



■ 部活・サークル

医学部独自に文科系の部活・サークルが18、体育会系が22あります。よく勉強する学生ほどサークルとの両立が上手く、ほとんどの学生が複数サークルを掛け持ちするのが伝統のひとつに。